

●●小学校『生きものランド』



【日本ビオトープ管理士会 近畿支部】

学校ビオトープの意義

- ビオトープとは？ ⇒ 本来その地域に棲む様々な野生動植物が、生きることが出来る空間
- 「学校ビオトープ」は、子どもたちに直接、自然に触れる感動を与え、自らの手で作り育てることのできる教材
- アサガオの栽培やウサギの飼育、或いは自然の一部を切り取った従来の教材とは異なり、関わり合って生きる動植物がセットになった教材
- 学校と地域をつなぐ： 設計から作り育てる作業まで、地域住民が関わる機会を提供
- 自然体験が豊富な子どもほど、道徳観・正義感が身についている傾向（中央教育審議会答申）
- 自然の変化を通して「感性」を磨き、「観察力」や「想像力」を養う機会を与えてくれる



整備・管理手法は？ ②

- ビオトープは作った後も継続的にそれを見守り、育てていくことが必要
- 「生きものの養殖場」にはしない。
 - ⇒ 世話しなくても、生きものたちが持続的に世代交代を繰り返すことができる状態を目指す。
- 自然に芽生える「野草」を活かす。
 - ⇒ 花壇・従来型の緑化 … 植物種は少なく、生物相は貧弱（園芸植物は「外来種」が多く、自然生態系の一員になりにくい）
 - ⇒ 毛虫やアブラムシが発生しても、それを食べるカマキリやテントウムシなどの天敵が少ない
 - ⇒ 仕方なく人間が殺虫剤をまく
 - ◆地元の植物が数多く生えていると、それを利用する昆虫が増える。
 - ⇒ ある特定の生きものだけが増えることは無い。
 - ⇒ 子どもたちは、多種多様な生きものが「つながり合う」ことで、自然生態系がバランスを保つことを知る。



どのような動植物に来て欲しい？

- 学校周辺が自然環境に恵まれている「●●小」では、多種多様な生きものを呼び出すことができる可能性が高い！！
- 野草が開花 ⇒ 吸蜜昆虫 ⇒ 食虫昆虫 ⇒ 野鳥 ⇒ 糞中の種が発芽
- ツバメやツグミ、ショウビタキなどの渡り鳥が、子育てや越冬に飛来
 - ⇒ 小さなビオトープでも、世界とつながっている！
- 人為的に生きものを持ち込む場合、本来この地域にいた生きものにこだわりたい。
 - ⇒ 地域の野生の生きもののために、そして子どもたちに地域の自然を考えてもらうために。



※ 通常の「管理」は、適度な草刈りと、水量の維持、及び繁茂しすぎた水草や池底の腐敗物の除去など

『生きものランド』の活用

- 子どもたちが、自然と積極的に関わることができる。
 - ⇒ どんな生きものがやって来るのか、「発見」の喜びを味わったり、生きものを呼び込むための工夫を凝らしたり、自然を直接対象とする実験をしたり……。
 - ◇雑草地を増やす（池の周り、池と農園の間）
 - ◇隠れ家や繁殖場所を作る（枯れ枝積み、落ち葉積み、丸太積み、石積み、…）
- プール開き前の清掃時に捕まえた、「ヤゴ」などの水生生物の「引越先」として利用
- ビオトープでの生きものの営みを、隣接地の学校農園に広げる
 - ⇒ 化学肥料や殺虫剤を使う必要のない「有機農業」、野生の生きものと共存できる農業を体験
- 生きものの立場になって考える
 - ⇒ 食べものは？ 寝る場所は？ 卵を産む場所は？ 幼虫の食べものは？ 隠れる場所は？
 - ここの学校（ビオトープ）は暮らしやすいか？ 移動する安全な道はあるか？



整備・管理手法は？ ① 【水】

- 上水道の利用（現行）： 水道水は塩素含有 … 補充程度なら可
- 雨水の利用（将来）： （校舎や体育館からの）雨樋の水をタンクに貯めて使用
- 水中の生きものが身を守るために… ⇒ 底には土や石を敷く + 水中植物を繁茂させる
- 湿地を作る ⇒ プランターの下にレンガ等の台を置き、水深5cmほどの湿地を作る
 - ⇒ 動物プランクトン発生 ⇒ 植物プランクトンの増殖を抑え、水の濁り防止



1種類の生きものが
いくつものビオトープを
使ってくらしてるんだ!

そうそう

ビオトープのつながりを探ってみよう!

どの生きものが どんなビオトープを いくつ使ってる?

ニホンアカガエルの場合



ニホンアカガエル●体がうすい茶色のカエル。林・池・はらっぱがそろっているところにくらしている。

池のビオトープ



あたまじゃくし(かぶと)のときは水の中で大きくなるよ。

はらっぱのビオトープ



あとなのカエル(ついで)になったらはらっぱでエサをとるよ。

浅い水辺のビオトープ



春になると、また水辺にもどってきてたまごを生むんだ。

林のビオトープ



冬になると林の中の落ち葉の下でねむるよ。



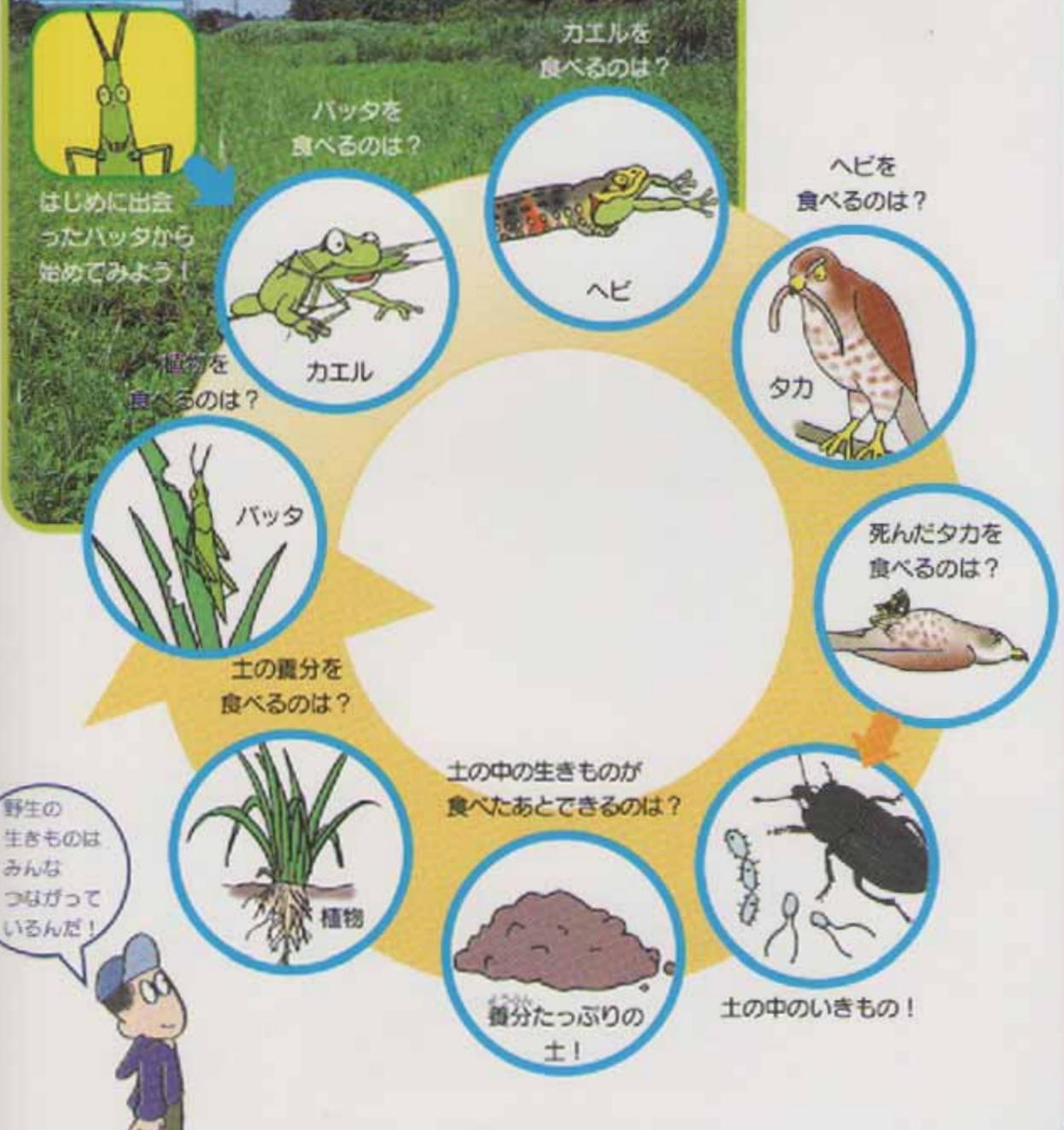
池もはらっぱも林も、みんなそろってるからくらせるんだね!

生きもののつながりを探ってみよう!

どの生きものが どんな生きものを 食べている?



スタート!



※「学校ビオトープのつくりかた図鑑1」汐文社 より